

第12回わくわくコンサート

－ みんなで楽しむ音楽鑑賞会 －

代表者 原田 双葉 (教育学部 学校教育教員養成課程
中学校教育コース 保健体育科領域 4年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、小さな子どもや特別な支援を必要とする方など、普段なかなかコンサートに参加できない方々にも、そうでない方にも、ホールで一緒に音楽に触れてもらい、コンサート会場で楽しい時間を共有していただくことを目的に、平成19年度から行っているコンサートです。今回で12回目を迎えるこのコンサートは、香川大学の学生をはじめ、先生方、大学職員、卒業生・修了生の方々、複数の企業・団体等の皆さまなど多数のご協力を得て、毎回無料でのコンサートを実現してきました。このコンサートは、サンポートホール高松3階大ホールで行われています。毎回テーマを設け、それに関連した曲目構成やイベントを企画、運営しています。テーマに関わる様々な視点からも、音楽や文化に興味を持っていただき、誰もが楽しい時間を過ごすことができるように工夫を凝らしています。

■活動概要〈日程等〉

実行委員会を組織 (平成30年2月～6月)

第1回 全体実行委員会 7月

* 一般ボランティアの募集 7月～ 11月

- * 本部会議は必要に応じて開催
- * 演奏プログラム最終確定 → 演奏者の出演交渉と最終決定
- * イベントごとに実行委員のリーダーを中心として準備を進める
- * チラシおよび当日配布プログラム作成
- * チラシ完成と配布開始 12月末～
- * ホール打ち合わせ 12月中旬
- * 演奏・ダンス練習開始 11月～

第2回 全体実行委員会 1月30日 8時～

広報活動 (ラジオ出演 2回, 新聞, 高松市広報等への掲載依頼)

* 前日練習

* 物品運搬・確認

2月10日 当日 実行委員 7:50～ホール活動開始

第3回 全体実行委員会反省会

3月5日 実行委員会本部反省会

■プログラム

コンサート I

1. G.ガーシュイン：ラプソディー・イン・ブルー

(ピアノ 東浦亜希子 森正)

2. A. ドボルザーク/F. クライスラー：ユーモレスク
（ヴィオラ（アルト）：堀越みちこ ピアノ：山田啓明）
3. 山田耕作/三木露風：赤とんぼ
作曲者不詳/J. ニュートン：アメイジング・グレイス
（アルト：小川明子 ピアノ：山田啓明）
4. L. バーンスタイン：ウェストサイド物語より
 - 1) クール
 - 2) トゥナイト
 - 3) アメリカ
 - 4) マンボ
（タップダンス：井草啓太 ダンス：原百合子 松岡健介 横田明日香 亀井美波
岡本早代 中村祐斗 井川咲菜 奥村夏音 ダンス/振付：村田時与）
（ピアノ 東浦亜希子 森正）

コンサートⅡ

1. P. チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 Op.23
第1楽章 アレグロ・ノン・トロポ・エ・モルト・マエストーソ
アレグロ・コン・スピリート
第2楽章 アンダンティーノ・センプリチェ - プレスティッシモ
第3楽章 アレグロ・コン・フォーコ
（ピアノ：古海行子 -第4回高松国際ピアノコンクール優勝者-
指揮：山田啓明 wakuwaku室内管弦楽団）

■イベント

イベントⅠ

- ・アメリカ・クイズ ・アメリカ展示 ・音で遊ぼう ・アメリカのお話
- ・機関車トーマス ・箏ミニコンサート

イベントⅡ

[ロビー]

- ・楽器体験（アルト〈ヴィオラ〉、アルトサクソ、アルトリコーダー、アコースティックギター、ヴァイオリン等）
- ・箏体験 ・アメリカ・クイズ ・アメリカ展示 ・ABCカルタ
- ・Balloon de America
- ・アルミニウムで遊ぼう！

[ステージ]

- ・大ホールでグランドピアノを弾こう！（当日受付/先着10名）
- ・指揮者なりきり撮影会

■主催：第12回わくわくコンサート実行委員会 共催：（公財）高松市文化芸術財団

助成：平成30年度 香川大学学生支援プロジェクト

平成30年度（公財）明治百年記念香川県青少年基金

後援：駐大阪・神戸米国領事館 香川県 香川県教育委員会 高松市 高松市教育委員会
高松国際ピアノコンクール組織委員会

協賛：（公財）南海育英会 松楠会（香川大学教育学部同窓会）

協力：香川大学図書館 ヤマハミュージックリテイリング高松店
幸楠会（香川大学教育学部後援会） （株）レアスイート

2. 実施期間（実施日）

平成31年2月10日（日）13:00～16:00（開場12:20）

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このコンサートは、今年で12回目を迎え、上記の日程で行われました。開場前から入口には行列ができ、満席（約1200人）のご来場者で席が埋まりました。お客様からのアンケート結果から、今回初めて参加された方々が半数以上を占めていたことが分かりました。参加のきっかけとして、「たまたまNHKの放送でコンサートを知った」「学校から持ち帰ったチラシをみて」などが挙げられており、メディアでの拡散や、幼稚園や小学校などへのチラシ配布、ポスター掲示といった広報活動の成果が見られました。

今回は、テーマを「海をわたる芸術家たち」とし、テーマ国をアメリカに設定しました。これに沿ってコンサート1部と2部を開催するとともに、開演前と終演後にロビー等でイベントを行いました。

コンサートのプログラムは、アメリカ出身の作曲家の楽曲に限らず、海をわたってアメリカの音楽文化に影響を与えた作曲家たちの楽曲も含めて構成しました。

第1部では「アメジジング・グレイス」や、山田耕作の「赤とんぼ」など、子どもも知っていてなおかつ大人にとっては懐かしいなじみのある楽曲を取り入れたことで、老若男女問わず楽しむことができました。また今回、L. バーンスタイン作曲の「ウェストサイドストーリー」にはダンスを取り入れました。プロダンサーの村田時与氏を迎え、香川大学生の有志たちと迫力あるダンスで盛り上げました。

第2部では、第4回 高松国際ピアノコンクールの優勝者、古海行子さんをソリストに迎え、チャイコフスキーの作品の中でも最も人気のある『ピアノ協奏曲第1番』を全楽章お届けしました。終演後のアンケートでも一番評価が高く、オーケストラの迫力とピアノの音色で会場を魅了しました。

ロビーイベントでは、テーマ国のアメリカに関するイベントや、音楽に気軽に触れることのできる体験型のイベントを開催し、ロビーがお客様で埋まってしまうほど大盛況でした。

特にアメリカ展示は、子ども達だけでなく大人も思わず立ち止まり、眺めてしまうようなアメリカの綺麗な景色や紹介があり、音楽と共にアメリカという国の文化にも触れていただくことができました。

毎年恒例で好評を得ている楽器体験は、「A」の付く楽器も多数用意し、長蛇の列を作りました。普段

身のまわりにはない、生の楽器を実際に手に取ることができるこの体験は、子ども達の音楽への興味を引き出すこともしばしばあり、これをきっかけに楽器を始めたというお声もいただいています。たくさんの笑顔を見ることができるイベントの一つです。

さらに今回は、ABCカルタという英語のカルタを新たに企画しました。テーマがアメリカということも大きいのですが、小学校での外国語教育の充実が図られている昨今の教育的背景も踏まえた新しい企画でもあります。これも多数の子どもが興味を示し、楽しみながら英語に触れることができ、アンケートで楽しかったイベントに「カルタ」を選ぶ子どもが年少者を中心に多かっただけでなく、担当した学生からも一定の成果を得たとの感想がありました。



運営に関して、まず最大の成果は、お客様をはじめとして参加した方が誰もけがなどをすることなく、安全にこのプロジェクトを遂行できたことです。当たり前のことですが、1000人を超える幅広い年代のお客様を一斉にお迎えするにあたって、最大限注意を払っていても100%はあり得ません。そういった意味でも、今回安全管理マニュアルや連絡網、自衛消防班の編成を行い、安全管理を徹底できたことは、評価できると考えま

す。

また、今回は実行委員や学生ボランティアにトイレの位置や救護室の場所などを事前に周知し、誰が尋ねられてもご案内ができるようにこれまで以上に周知を徹底しました。それだけでなく、ホール案内の学生を増やし、直接お声かけをして席を詰めていただく等、一人でも多くのお客様に座っていただけるよう細かなところにも今まで以上に配慮することができました。ボランティアへのアンケートからは、「きちんとお客様をご案内することができた」という声があり、お客様からも「ボランティアスタッフの対応がすごくよかったです」というお言葉もいただきました。

筆者自身も、ベビーカーで来られたご家族をご案内し、大変感謝されたことや、お客様から直接、「このような機会は滅多にないから、本当にありがたい」といったありがたいお言葉を多数頂戴し、このプロジェクトを行う意義を実感することができました。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、目的の中にもある、普段コンサートに参加が難しい小さな子どもや特別な支援を必要とする方々にも、そのご家族などと一緒に音楽を楽しむ機会を提供することができ、市民のみなさんの希望に沿うことができたと考えます。その根拠としては、終演後に記入いただいたアンケートより、「親子でコンサートを楽しむ良い体験ができて大満足です」「車いすにも対応していただき助かりました」といった感想を多数いただいたことが挙げられます。

また、今回はメディアを通じた広報活動として2局のラジオ番組に出演しただけでなく、コンサート前にNHK高松放送局やケーブルテレビでも紹介していただき、香川大学の学生がこういったプロジェクトを行っていることを広く市民の皆様を知っていただくことができました。アンケートの感想欄に、「NHKの放送を見てたまたま知って足を運んだ」「このような活動をしていることを初めて知った、とても素晴らしいと思う」といったお声をいただき、広報の成果と共に、香川大学生が主体となって主催する活動として良いアピールができたのではないかと考えます。

さらに、小さな子どもが楽器に触れる機会を設けたことで、子ども達が音楽に興味を持つきっかけになるだけでなく、香川県の音楽文化の発展にも寄与できる人材を作っていく、そのきっかけになると考えます。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本事業を進めるにあたって、本当にたくさんの方々のご協力を賜りました。香川大学の全学部の学生はもとより、先生方、OB・OGの方々をはじめ企業や財団などを含めて地域の方々のご協力がなければ、本事業は成り立っていません。企画・準備において、こうした学内外の方々と連絡を取り、プレゼンを行ったり仕事を依頼したり協力して準備を進める中で、将来何かのプロジェクトを動かすために必要な社会的スキルが磨かれたと実感しています。

具体的には、人前で自分の伝えたいことを簡潔に伝える能力や、多くの人をまとめる能力、学外の、特に目上の方々に自分たちの想いを伝えてご協力いただくための対人スキルなどです。筆者は特に、昨年から運営の中枢に携わらせていただいていたので、ご協力いただいた外部の団体の方に顔を覚えていただいております、そのつながりでPRに一層尽力していただけた事例もあったことから、つながりを大切にすることの重要性も学びました。

当日のボランティアの学生においても、教育学部だけでなく、法学部や経済学部、医学部、農学部、工学部、香川大学の全学部から集まったボランティアが、それぞれの得意分野を活かした活動を協力しながら行うことは、非常に有意義であると考えます。具

体的には、大学の授業ではなかなか経験することのできない市民の皆さんとの交流という面で、対人スキルを磨くことができたり、イベントの運営では将来どんな職業に就いても生かすことのできる経験ができたこと、また自分の専門分野の活かし方についても学ぶことができたことです。今後それぞれの進路について深く考えていくきっかけにもなったと考えます。



(コンサートの様子)



(ロビーイベントのABCカルタの様子)

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

子ども達の演奏者を見るキラキラした瞳や、子ども達の楽しそうな様子を見て思わず微笑みながらカメラのシャッターを切る保護者の姿、たくさんの笑顔を見ることができて、本事業の運営に関わることができてよかったと心から思いました。終演後にお客様に回答していただいたアンケートには、「ぜひこれからも続けてほしい」「来年も期待しています」といった感想が多く、また筆者もお客様から直々にお褒めの言葉や励ましの言葉をいただいたことから、本事業を継続していく意義は十分にあると考えます。

前回の反省から、受付を香川大学生用と一般のお客様用で分けたり、イベントの配置を変更したりと工夫をし、問題を解決することができました。また、事前に想定されるトラブルを周知することで、各セクションでそれぞれが臨機応変に対応することができていたことも、とてもよかった点であると考えます。しかし、1つ問題をクリアすると、また新たな問題が出てきました。受付の混雑を誘発してしまったことや、ボランティアスタッフへの情報共有不足でお客様への案内が上手くいかないことがあったこと、またイベントの配置について、スペースや集客の関係からまだ改善の余地があること、などが挙げられます。

今後は、実行委員やボランティア同士で情報をすべて共有しもっと密に連携できるように、実行委員同士やボランティアとの関係づくりはもちろん、引継ぎを確実にを行う体制の強化を図るとともに、今回新たに出てきた課題を丁寧に見直して改善策を練っていく必要があります。また、だんだんと増えてはいますが、実行委員については教育学部以外の学生が割合的にまだ少ないのが現状です。従ってもっと学内で本事業をアピールし、他学部生をもっと受け入れることで、それぞれが専門分野を活かしたより良い活動ができると考えます。

もうすでに次年度の開催に向けて、実行委員本部のメンバーを招集するなど、動き始めています。筆者は今回で卒業をむかえるため最後の参加となりましたが、これから先も本事業のコンセプトを守りながらより良い事業にしていくために、挑戦し続ける活動であってほしいと切に願います。

7. 実施メンバー

代表者：原田双葉（教育学部4年）

構成員：藤川彩音（教育学部4年） 向井琴咲（教育学部3年） 今井亮（教育学部3年） 秦直樹（教育学研究科1年） 原百合子（教育学部3年） 池田幹莉杏（教育学部2年） 吉田陸斗（教育学部2年） 明石杏菜（教育学部3年） 朝比奈茉衣（教育学部3年） 阿部麻里奈（法学部3年） 井川咲菜（経済学部2年） 石戸加奈子（教育学部3年） 稲葉桃子（教育学部4年） 上野夏世（教育学部4年） 遠藤留美（教育学部3年） 大西浩太郎（教育学部4年） 大村ふみ（教育学部2年） 大山和起（教育学部1年） 岡本早代（経済学部3年） 岡山紗玖良（経済学部4年） 奥村夏音（工学部2年） 奥村萌実（教育学部4年） 影山泰珠（法学部3年） 叶谷雄河（工学部3年） 亀井瑞希（教育学部3年） 亀井美波（教育学部3年） 木口凌佑（教育学部2年） 岸彩那（法学部4年） 久保田さくら（教育学部3年） 先田圭吾（教育学部3年） 十河優香（教育学部3年） 高木晴菜（教育学部4年） 高木悠善（教育学部3年） 高橋綾（教育学部4年） 武一期（教育学部1年） 田中悠作（教育学部3年） 千葉裕古（教育学部2年） 出水祐之介（教育学部2年） 中井友紀子（教育学部4年） 中村祐斗（経済学部3年） 西山奈那（医学部1年） 仁宮悠登（教育学部3年） 難波慧（法学部3年） 橋本壮平（農学部4年） 林優香（教育学部1年） 東はるか（教育学部2年） 藤本優大（経済学部3年） 細川美弥（教育学部2年） 山崎健太郎（教育学部2年） 山田華怜（教育学部4年） 横手祐海（経済学部3年） 吉松里菜子（教育学部1年） 青山夕夏（香川大学教員）

8. 執行経費内訳書

配分予算額		200,000円		
執行経費（品目等）	数量	単価(円)	金額(円)	備考
チラシ印刷代	37000枚	3.24	119,880	領収書あり
パンフレット印刷代	1100枚	44.28	48,708	領収書あり
仕訳梱包代	1式		31,412	領収書あり
合計			200,000	